

万が一にもしっかり備える、先進の安全技術を搭載。

幅広いシーンで安心の運転を支えます ※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください



Photo: KX 4WD・4AT車 Body Color: モスグレーメタリック



安全運転サポート車(サポカーS・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サポカーS・ワイド)」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

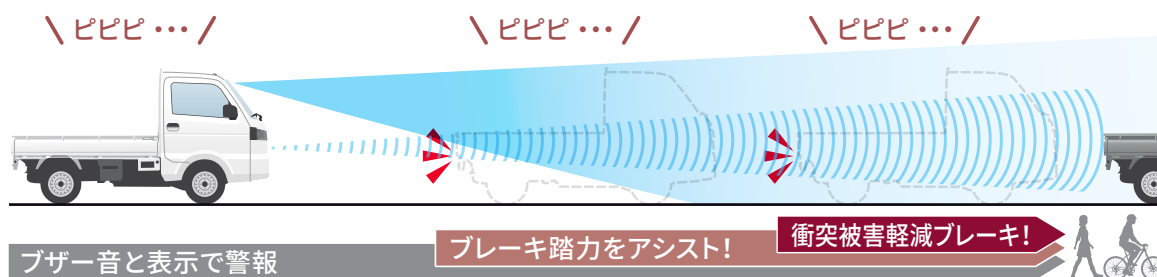


*詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。

デュアルセンサーブレーキサポートII〈全車標準装備〉

システムが衝突のおそれがあると判断すると、音やメーターなどの表示によってドライバーに警告。ブレーキペダルを踏むと、ブレーキ踏力をアシスト。衝突の可能性が高まると、自動で強いブレーキをかけ、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

■イメージ図



*衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前に全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることをご確認ください。
*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、必ずブレーキペダルを踏んでください。

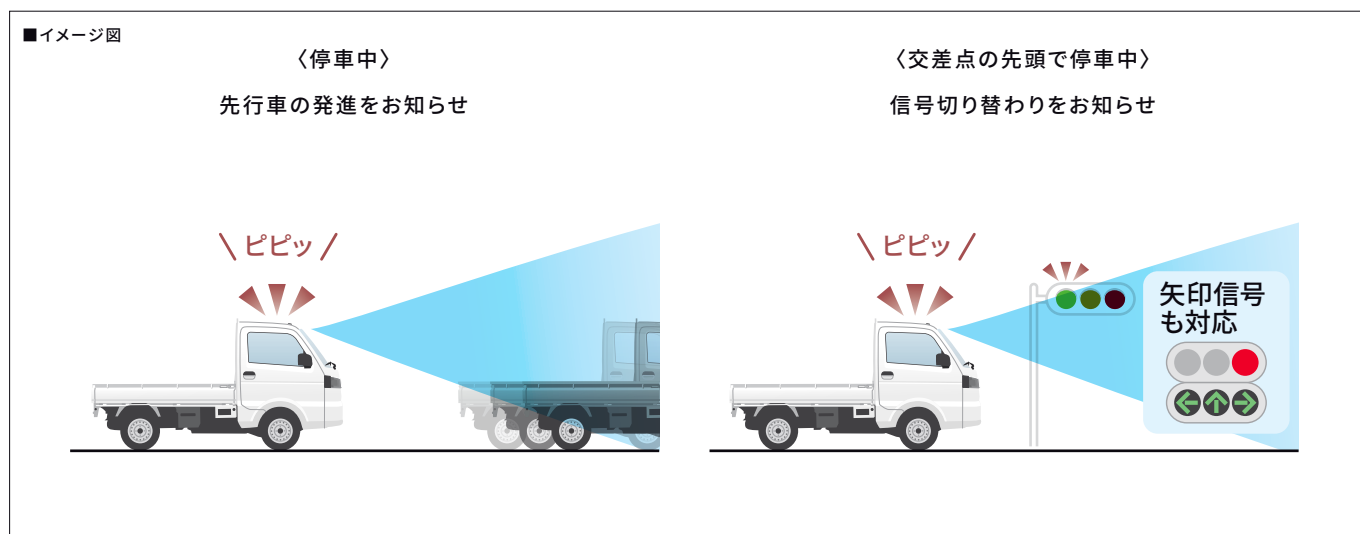
- 交差点衝突回避支援(右左折)** 右左折時に対向車の進路を横切るときや対向方向からの横断歩行者や自転車を検出した場合、前方衝突警報および衝突被害軽減ブレーキにより、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。
- 交差点衝突回避支援(出合頭車両)** 交差点など側方から接近する車両と衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、前方衝突警報および衝突被害軽減ブレーキにより、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

〈作動条件〉

自車速度約5km/h~約180km/h(対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h~約80km/h)、交差点(右左折)では、自車速度約5km/h~約40km/h(対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h~約30km/h)、交差点(出合頭車両)では、自車速度約5km/h~約60km/hで走行中、車両や自動二輪車(前方の対向車両、対向自動二輪車は約30km/h~約180km/h)、自転車、歩行者を検出し、システムが衝突の可能性があると判断した場合、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみで衝突被害軽減ブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。

発進お知らせ機能(先行車/信号切り替わり)〈全車標準装備〉

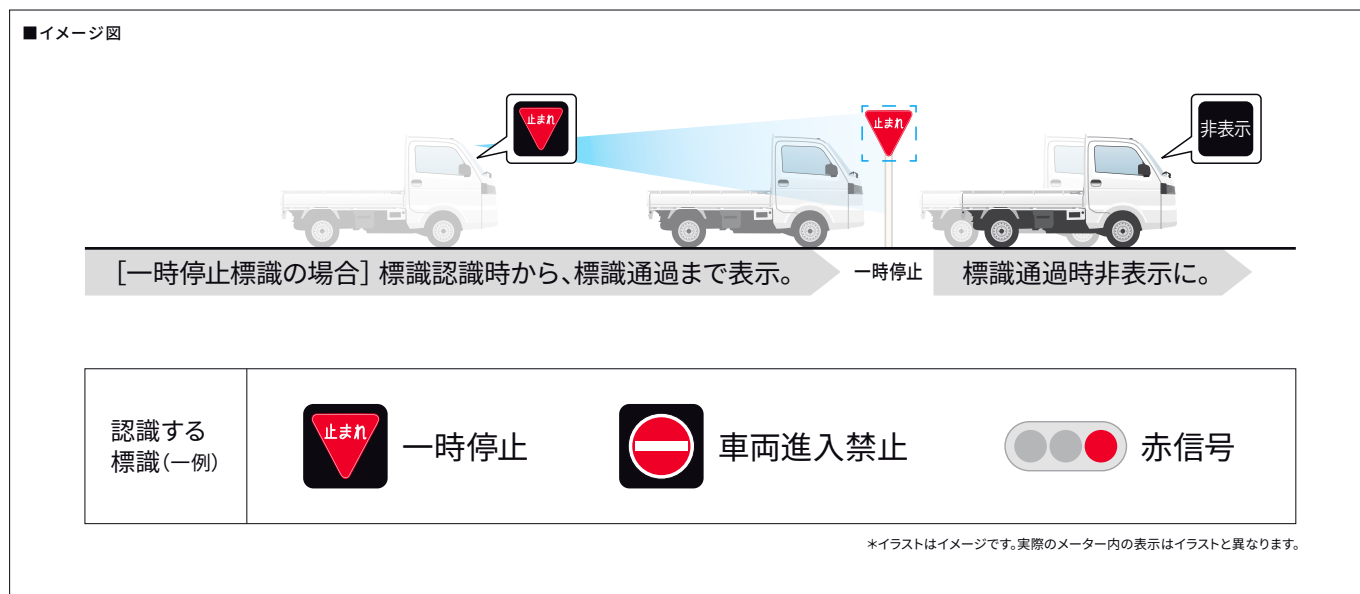
先頭で信号待ち時に停車し続けた場合、ブザー音とメーター内の表示でお知らせします。



〈作動条件〉
シフトがP・R以外の位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進してもドライバーが気づかずに停止し続けた場合や、赤信号から青信号に切り替わってもドライバーが気づかずに停車し続けた場合。

標識認識機能(車両進入禁止/一時停止/赤信号)〈全車標準装備〉

走行中に標識を認識すると、メーターにマークを表示してドライバーにお知らせ。標識によってはブザー音でお知らせします。



〈作動条件〉
走行中にシステムが一時停止、車両進入禁止、赤信号を認識した場合。

- 運転支援を目的としています。
- 検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- 状況によっては正常に作動しない場合があります。
- ⚠️ ■ 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。
- ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。
- ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
- 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

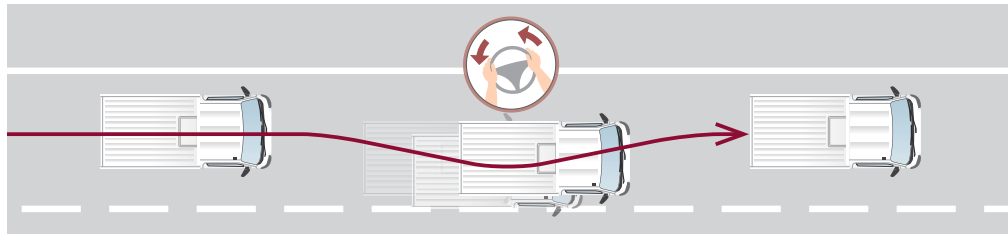
*画像は説明のためのイメージです。

車線逸脱抑制機能〈全車標準装備〉

走行中は、左右の区画線や走路を検知し進路を予測。車線逸脱の可能性が高いとシステムが判断すると、ステアリングに力を加えることでドライバーに操作をうながし、車両を車線の内側に戻すよう支援。

- ドライバーの緊急操舵時は、ドライバーの操舵を妨げません。
- ウインカーが出ている間は、車線変更の意図があると判断し、車線逸脱抑制機能を一旦停止します。

■イメージ図



〈作動条件〉

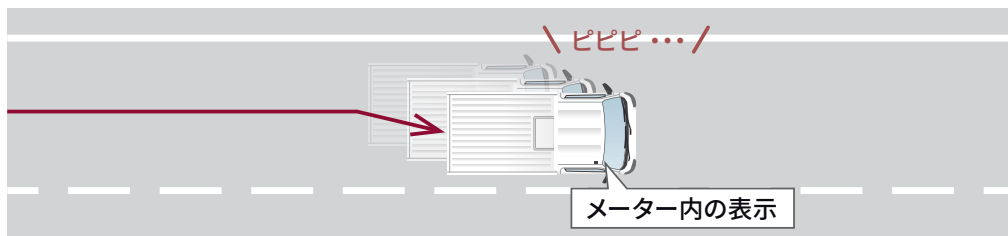
機能をONの状態にて約50km/h以上（車線の周囲に自動二輪車や歩行者を検知した場合は約40km/h以上）で走行中、車線の左右区画線や道路端を検知し、進路を予測。システムが車線を逸脱すると判断した場合。

車線逸脱警報機能〈全車標準装備〉

走行中は左右の区画線や走路を検知し、進路を予測。車線を逸脱するとシステムが判断した場合、ブザー音とメーター内の表示で警報。

- ウインカーが出ている間は、車線変更の意図があると判断し、車線逸脱警報機能を一旦停止します。

■イメージ図



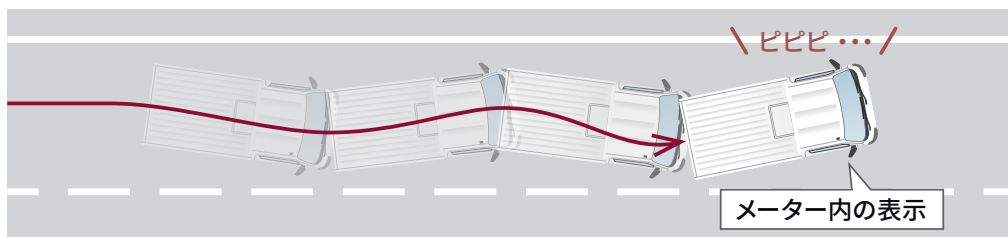
〈作動条件〉

約50km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。

ふらつき警報機能〈全車標準装備〉

長時間の走行中、左右の区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。「ふらつき」とシステムが判断した場合、ブザー音とメーター内の表示で警報。

■イメージ図



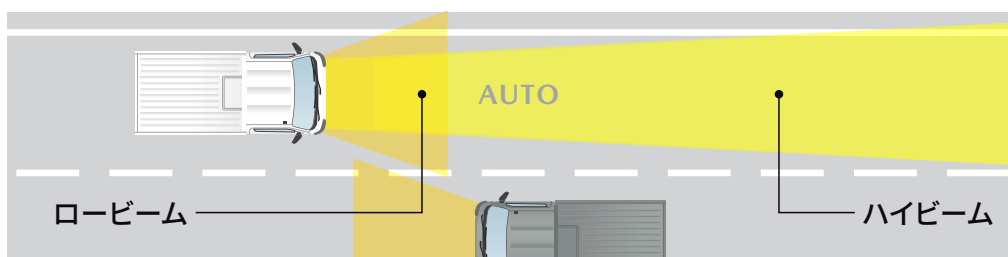
〈作動条件〉

約50km/h以上で走行中、車線の左右区画線や道路端を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。

ハイビームアシスト機能〈全車標準装備〉

ヘッドランプのハイビーム/ロービームを自動で切り替えます。前方に対向車や先行車がいる場合、または街路灯の多い場所や明るい場所ではロービームに、対向車や先行車がいなくなると自動でハイビームに戻ります。

■イメージ図



〈作動条件〉

約30km/h以上で走行中、スイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、自動でヘッドライトが点灯しているとき。

誤発進抑制機能[前進時]〈全車標準装備〉

誤発進抑制機能[後退時]〈全車標準装備〉

システムが進行方向の障害物を検知。停車または徐行中で作動。アクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を自動的に抑制します。作動中はブザー音を鳴らし、メーター内の表示灯を点滅させてエンジン出力の抑制をお知らせします。さらに、機能作動中に後方の障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断した場合、自動でブレーキ制御が作動し、衝突回避または衝突被害軽減に貢献します。

■イメージ図[前進時]



〈作動条件〉
誤発進抑制機能[前進時]:シフトが5MT車はR以外、4AT車はD・2・Lの位置で停車または徐行中(約10km/h以下)、前方の障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。

■イメージ図[後退時]



〈作動条件〉
誤発進抑制機能[後退時]:停車または徐行で後退中、後方に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。

低速時ブレーキサポート[前進時]〈全車標準装備〉

フロントバンパーおよびリアスカートパネルに内蔵した各4つの超音波センサーで、前方・後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音とメーター表示で障害物への接近をお知らせする「パーキングセンサー」を搭載し、さらに、前方の障害物との衝突の危険性が高まると衝突被害軽減ブレーキが作動し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、必ずブレーキペダルを踏んでください。

■イメージ図



〈作動条件〉
シフトが5MT車はR以外、4AT車はP・R以外の位置で前進中、進行方向に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。



- 運転支援を目的としています。
- 検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- 状況によっては正常に作動しない場合があります。
- ⚠️ ■ 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。
- ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。
- ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
- 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

*画像は説明のためのイメージです。

すみずみまでこだわった安全性。

事故や衝突の被害を抑えるために、きめ細かな装備を採用しています

安全性を高める軽量衝撃吸収ボディ 〈全車標準装備〉

衝突時の衝撃を効率よく吸収・分散するボディ構造を採用。

高張力鋼板の採用により、ボディの軽量化を 図りながら安全性も確保〈全車標準装備〉

ボディ要所に、軽くて丈夫な高張力鋼板や超高張力鋼板を効果的に使用。衝突安全性や耐久性を高めながら軽量化を図ることで、燃費の向上もあわせて実現しています。

安全性を高めたシートベルト機構〈全車標準装備〉

衝突時にシートベルトの緩みを瞬時に巻き取るプリテンショナー、胸部への衝撃を緩和するロードリミッターを運転席・助手席に標準装備。

SRS^{※1}エアバッグシステム(運転席/助手席) 〈全車標準装備〉

前方からの衝突時、エアバッグが瞬時に膨張・収縮。シートベルトの効果と合わせて乗員の頭部や胸部へのダメージを緩和します。

■作動イメージ図



ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム[横滑り防止機構] (DSC) &トラクション・コントロール・システム(TCS)^{※2} 〈全車標準装備〉

さまざまなセンサーによって走りを監視し、必要に応じてエンジンとブレーキをコンピューター制御。カーブなどでのタイヤのスリップや横滑り、急ブレーキ時のタイヤロックなどを抑え、車両の安定走行に貢献します。

4輪アンチロック・ブレーキ・システム(4W-ABS) & 電子制御制動力配分システム(EBD)^{※3}〈全車標準装備〉

急ブレーキ時や雨などで滑りやすい路面でのブレーキ時のタイヤロックを防ぎ、ステアリング操作による障害物回避をサポートします。また、全車にブレーキ踏力を補助するブレーキアシストも備えています。

ヒルホールドコントロール〈全車標準装備〉

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える瞬間、一時的にブレーキが作動(最長約2秒間)。落ち着いて発進ができます。

LEDヘッドランプ(ハイ/ロービーム:マニュアルレベリング[光軸調整]機構付)〈全車標準装備〉

省電力で、明るい光を放つLEDヘッドランプを採用。



Photo: KX 4WD・5MT車 Body Color: モスグレーメタリック

※1 SRSエアバッグシステムは、シートベルトを補助する装置ですので、必ずシートベルトをご着用ください。SRSエアバッグシステムは、衝突の条件によっては作動しない場合があります。また、ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をよくお読みください。

SRS=Supplemental Restraint System (補助拘束装置)

※2 エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC&TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC&TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。

※3 4W-ABS&EBDはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。4W-ABS&EBD非装着車と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要です。安全運転を心がけてください。

幅広いシーンに対応する扱いやすさと高い走破性。

ショートホイールベースだから狭い道でもスムーズです

小回り上手なショートホイールベース

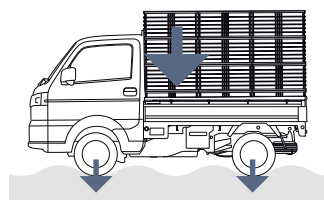
ホイールベースが短く、回転半径や内輪差が小さいため、優れた小回り性を発揮。狭い道を曲がる際や駐車時・Uターン時などでも切り返しが少なく、スムーズに走ることができます。



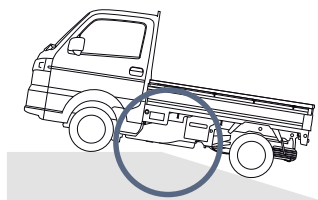
Photo:KC

悪路や段差に強い、安定した使いやすさ

悪路でも安心の荷重バランス



積載時の荷重が、前後輪にバランスよくかかるため悪路に強い



起伏した路面でも、車体底部が接触しにくいいためスムーズに走行が可能

段差をクリアしやすい

アプローチアングル&バンパー地上高

アプローチアングル
19.9°
※4



山道やあぜ道への乗り入れの際、車体が地面に接触しにくい

バンパー地上高
273mm
※4



荒れた道での走行や障害物を乗り越える際、バンパーが接触しにくい

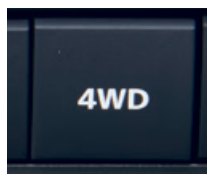
※4 スズキ株式会社による社内測定値。
Photo:KC

状況に合わせて使い分けられる頼もしい機能

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください

走行中でも2WD⇄4WDがワンタッチ、ドライブセレクト4×4<標準装備:KC(4WD車)・KX(AT車)>

舗装路では2WD、荒れた道や雪道などでは4WDと、走行中でもスイッチひとつで切り替えることができます。

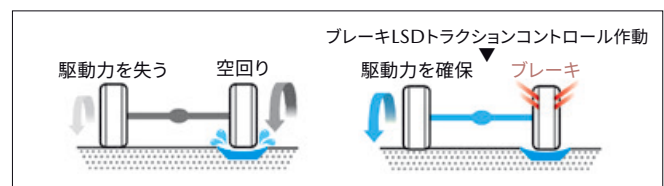


*2WD⇄4WDへの切り替えは、直進時に80km/h以下で行ってください。

路面状況が悪くても安心の装備、ブレーキLSDトラクションコントロール<全車標準装備>

ぬかるみなどで駆動輪のどちらかが空回りした場合、空回りする方にブレーキをかけることで、もう一方に駆動力を伝達。ぬかるみなどからの脱出をアシストします。

*タイヤの空回りを検知すると自動で作動します。



路面状況に合わせ、力強い走りが選べる 高低速2段切替式パートタイム4WD<標準装備:KX(MT車)・KC農繁>

平坦な砂利道やあぜ道などでは4H(4WD高速)を、起伏の激しい荒れた道などでは4L(4WD低速)をレバー操作で切り替えることができます。



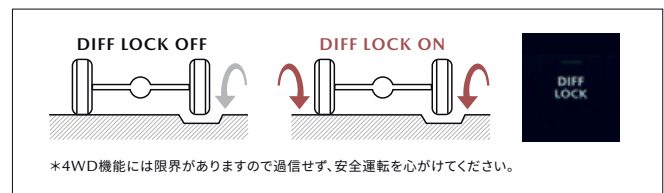
*4Hと4Lの切り替えは、必ず停車して行ってください。

Photo:KC 5MT車

ぬかるみからの脱出に威力を発揮するデフロックシステム<標準装備:KX(MT車)・KC農繁>

ぬかるみなどで後輪の片方が空回りした場合に、スイッチをONにするだけで、もう一方のタイヤに駆動力を伝達。ぬかるみなどからの脱出時に威力を発揮します。

*デフロックシステムは、安全のため30km/hを超えた場合には、自動的に解除されます。



*4WD機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。